

社協ニュース

No.71 (発行) 平成29年10月1日
 《編集》七飯町社会福祉協議会
 七飯町本町4丁目8-1 七飯町地域センター内
 TEL 65-2067
 ホームページ
<http://www.nanae-shakyo.com/>

北海道を愛するスポーツチームが赤い羽根共同募金を応援しています。
 手を取り合って一つになった大きな力は、北海道の福祉を勇気づけてくれています。



平素より赤い羽根共同募金活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様を支えられ、おかげさまで赤い羽根共同募金活動は七十周年を迎えました。

また、七飯町は皆様のおかげで十年連続目標額を達成することができ、この活動により集められた皆様の善意は、町内で活動する福祉団体や福祉教育・高齢者及び障がい者の方々等に対する活動支援に使われ、福祉コミュニティづくりに役立っております。

困っている人がいる。助けてあげたいと思う人がいる。その思いを募金に託す。

助成金となって必要な人のもとへ届く。困っていた人が笑顔になる。このようにして、赤い羽根共同募金活動の思いやり、やさしさが未来へと続いていきます。

これからも、地域に根ざした活動として更に推進して、「安心して暮らせるまちづくり」を目指していきたいと思えます。皆様の温かいご支援ご協力をお願い申し上げます。



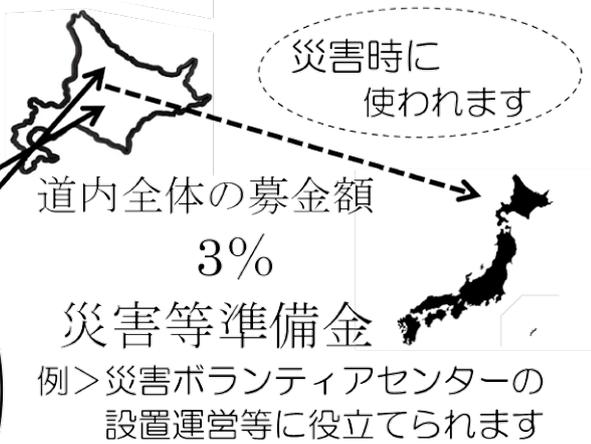
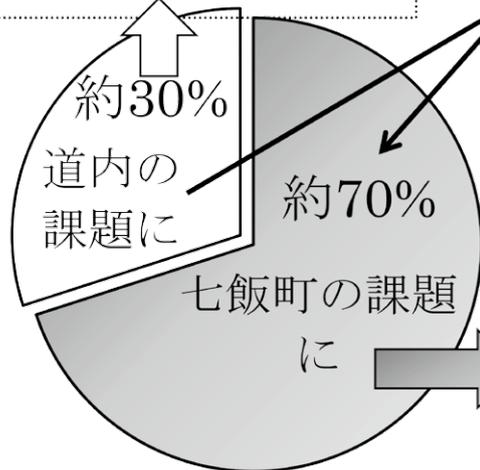
会長
伊藤 千恵子

「募金は未来へつづく」
 七飯町共同募金委員会

10月1日から12月31日まで 共同募金を実施しています

赤い羽根共同募金の内訳って？

施設の建設・福祉車両の購入などに役立てられています



みんなが暮らしやすい町づくりに役立てられています

共に助け合い、安心して生活を送るために必要な金額 400万円

平成29年度 赤い羽根共同募金助成を受けている団体一覧

団体名	活動概要	団体名	活動概要
1 七飯町立軍川小学校	学校及び近隣の美化活動	11 老人クラブ連合会	ローレンピック等活動支援
2 七飯町立峠下小学校	学校及び近隣の美化活動	12 七飯町介護者と共に歩む会	認知症の家族会と認知症予防運動普及活動
3 七飯町立大中山中学校	プルタブ回収で車椅子を	13 七飯町町内会連合会	七飯町を住みよい町にする活動
4 七飯町立七飯中学校	学校及び近隣の美化活動	14 七飯町民生委員児童委員協議会	民生・児童委員の身近な活動の支援
5 七飯町立大沼中学校鈴蘭谷分校	大沼雪と氷の祭典に参加協力	15 七飯町しおん会	ひとり親ネットワークの支援活動
6 七飯町手をつなぐ育成会	知的障がい者の支援活動	16 七飯レクリエーション協会	全国レクリエーション大会にむけて
7 自閉症者を支えよう「あっぷる」	自閉症者の支援活動	17 後見人の会 ななえ	成年後見制度の普及活動
8 NPO法人ななえあーす	障がい児通所支援	18 ボランティア連絡協議会	ボランティア団体の活動支援
9 七飯町身体障害者福祉協会	身体障害者支援	19 社協広報活動	社協ニュースによる広報活動
10 精神障害者回復者クラブ「和の会」	精神障害者支援		

公募

七飯町共同募金委員会では平成30年度の助成金交付団体を募集致します。12月26日までにお申込下さい。詳細は当委員会まで。☎65-2067

「九州地方の大雨災害」 義援金 38,164 円を送金いたしました。

平成29年7月5日から発生した大雨等により、福岡県や大分県では人的被害、住家被害等大きな被害が発生し、災害救助法が適用された市町村もあります。

今回、早い復興を願って7月14日と21日に町内の各スーパー等の前で街頭募金活動を行いました。

皆様よりお預かりした義援金を、北海道共同募金会へ送金いたしました。ご協力いただいた多くの方々、また街頭募金活動を行うにあたって趣旨に賛同して下さった町内の各スーパーの方々、本当にありがとうございました。

今後、北海道共同募金会より福岡県共同募金会あるいは大分県共同募金会に一括送金され、各県に設置された義援金配分委員会（県庁、県共同募金会、日本赤十字社県支部で構成）を通じて、被災者へ配分される予定です。



目標 11年連続 400万円

10月1日から赤い羽根共同募金運動がはじまりました。皆様のご協力がなければ10年間連続で達成することは容易なことではありませんでした。今年も12月31日まで11年連続という大きな目標達成に向けて活動しますので、皆様のご理解、ご協力宜しくお願い致します。



大中山文化祭



本町文化祭



信金前



役場前



藤城文化祭



大沼グレートラン



大沼グレートラン



職域募集

町に愛を、胸にバッジを
寄附金付バッジ好評受付中
各500円以上の募金で贈呈しております。

数に限りがあります。
予めご了承下さい



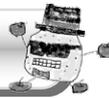
Piapro 支え合うココロ、
未来へ初音ミク



北海道共同募金会
今年のモデルは
キタイズナです

七飯町限定バッジPR!!

みんなに愛されてね『だんしゃ君』



9月2日(土)あかまつ公園市場にて七飯町限定バッジのPR活動を行いました。この日は天候にも恵まれ、朝から新鮮な農産物や町内の名産品を目当てにたくさんの方で賑わっておりました。

9月17日(日)には全国レクリエーション大会が行われ、全国各地の方も七飯町の記念とお土産として好評でした。

今年のバッジは七飯町が発祥の地である「男爵イモ」にちなんだ『だんしゃ君』を社協スタッフが考案しイメージキャラクターとして作成しました。また西洋リンゴの発祥の地でもあり、バッジにはリンゴの木がちょうど七飯町に位置しています。500円の募金で1個贈呈しています。

また、『だんしゃ君』シリーズ第2弾として運がつくかも?

『だんしゃく運』も作成しました。

150円の募金で1個贈呈しています。

運がつくかは運次第です。

どうぞよろしくお願ひします。



七飯町限定ピンバッジ
NANAЕだんしゃ君



七飯町限定
NANAЕだんしゃく運

バッジをつければワンもつよ!

平成29年度 街頭募金予定表

月日	場所	時間
10/ 2 (月)	役場前	9:30 ~ 10:30
	うみ街信金前	
	大沼出張所	
10/ 7 (土)	大中山出張所	10:00 ~ 11:30
	大中山文化祭	
	大沼グレートラン	
10/15 (日)	藤城文化祭	10:00 ~ 11:30
10/21 (土)	大沼文化祭	
10/28 (土)	本町文化祭	
11/20 (月)	昭和のうた コンサート	13:00 ~ 14:15

「HOTEL & RESORTS 男爵倶楽部」が 赤い羽根共同募金に協力

今回から赤い羽根共同募金寄附金付バッジ「だんしゃ君」を扱っていただくことになりました。このホテルは男爵イモ発祥に貢献した川田龍吉をちなんで建てられました。来年オープンする七飯の道の駅にも協力します。



函館市大手町22-10

《お問い合わせ》

北海道共同募金会
Community chest of hokkaido

☎ (011) 231-8000



ななえローレニック 2017 大会に 総勢 370 名参加 !! 『いい汗さわやが いきいき人生』

2007年より始まったこの『ななえローレニック』も今年で10年目の節目を迎えました。

8月24日文化センターにて、それいゆコーラスの「町歌」と「ララル」で今年も大会の幕が上がりました。

午前の部は芸能発表が行われ、各老人クラブや老人大学のサークルの方々の日頃から練習されている歌や踊りを披露し、拍手喝采を浴びていました。特に七飯老連女性部やフラ・サークル、七飯老大盛り上げ隊は、息の合ったダンスを披露し会場を盛り上げてくれました。

午後はスポーツセンターに移動し、輪投げ、ターゲットボール、ボール送りの3つの競技を12のチームに分かれて交流しながら楽しいひとときを過ごしました。

実行委員会では各部会にわかれ協議検討を繰り返し、当日も汗まみれで走り回っている姿が印象的でした。

参加された方々も一日を通して楽しみ、さわやかな汗をかき、まさにいきいき人生の中の貴重な1日となりました。



それいゆコーラス



北見辰雄実行委員長



七飯老連女性部



七飯老大盛り上げ隊



NANAE・フラ・サークル



輪なげ



ターゲットボール



ボール送り

七飯町にて集結開催！

第37回 渡島地区身体障害者福祉大会 第32回 渡島地区身体障害者スポーツ大会

8月26日、福祉大会・スポーツ大会が今年は当町七重小学校にて開催しました。松前町、福島町、知内町、木古内町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、長万部町の9町が参加し、総勢220名で会場一体となりうめつくしました。

福祉大会では沢出副大会長からの開会宣言の言葉を、かわきりに身障者の方や福祉関係者で亡くなられた方々のご冥福をお祈りし1分間の黙祷で始まりした。大会長の菅野文夫氏からの挨拶後、地元七飯町中宮町長から歓迎の挨拶で迎え、道渡島総合振興局長から障害を克服して自立され地域で活動されている自立活動者の方や障害者の援護に尽力されている社会に貢献されている自立支援労働者の方への表彰を行いました。午後からのスポーツ大会では、参加者を代表して、地元七飯町の池田伸二選手が元気に選手宣誓をし、競技が始まると、各町の参加者の方々は、じゃんけんリレーや、ユニークなかぼちゃ運びのリレーなどで7競技をそれぞれルールに従い、楽しく白熱した対戦で、皆さん、いい笑顔で時折真剣な面持ちで熱く対戦され、元気な一日を過ごされました。



池田選手による選手宣誓



中宮町長より挨拶

平成29年度

七飯町ふれあい研修旅行

8月31日(休)～9月1日(金)に北湯沢 森のソラニワ(旧第二名水亭・伊達市大滝区)で1泊2日のふれあい研修旅行が行われました。

日頃外出の機会が少ない障がいをお持ちの方が、旅行を通じて参加者同士の交流や社会見学が体験できることを目的としており、33名の参加者と11名の介助者、さくら共同作業所・役場職員・社協職員2名が参加しました。

宿泊先では、野外アドベンチャーパーク北湯沢でアクティブに挑戦したり、温泉でリラックスしたりし、美味しい食事をいただきました。

登別マリンパークニクスでは、見学したいという意欲から普段以上の運動効果が得られた様子でした。

参加者の安心・安全を心掛けた研修旅行はたくさんの笑顔に出会える旅行となりました。



森のソラニワのロビーにて

『全国レクリエーション大会 in 北海道』 七飯町で開催

「第71回全国レクリエーション大会 in 北海道」が9月15日から17日までの3日間函館市や北斗市・七飯町などの5市町で開催され全国からたくさんのレクリエーション実践者等が集まりました。

15日(金)は函館市にて開会式が行われ、その後会場を移し「交換の夕べ」では七飯レク協会の「俺のふるさと北海道」健康長寿体操で歓迎しました。

七飯町では16日(土)にフルーツウォーキングと17日(日)にはカーリングをモデルにしたスポーツ「ユニカール大会」が開催され多くのボランティアが活躍しました。

フルーツウォーキングには総勢35名があかまつ公園をスタートし約3,4kmのウォーキングを楽しみ、又大中山コモンを会場に行われた「ユニカール大会」には全国より60チーム(約200名)が参加し、それぞれのチームが優勝めざし腕を競い合いました。

この大会のため七飯レクリエーション協会(会長岩井芳英氏)は昨年からの準備を重ね、ここ数ヶ月間は全国レク協会や北海道レク協会との調整や町内のボランティアへの役割分担や種目説明など、ほぼ休みなく動きまわっていました。

大会が終わり全国各地から参加された方々が笑顔で函館駅へ向かう姿を、七飯レク協会やボランティアさんが笑顔で見送る光景が素敵でした。誰もいなくなった会議室で最後は関係者が集まり一本締めで大会を締めくくりました。



函館市民会館にて開会式



七飯レク協会のパフォーマンス



岩井芳英会長



フルーツウォーキング



赤松街道をウォーキング



地元チームによる選手宣誓



円の中心めがけてストーンを投げました



七飯社協もユニカール大会に参加

【利用目的】 なかよし号

貸出車輛「なかよし」は健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりを目指し、外出の機会を支援し、活動の輪を広げ、会員の相互理解を深め、連携を図るために使用されるため色々な団体に利用されています。営利を目的としない活動や緊急性のある事案に対しても、利用状況に応じて貸出をしています。

【利用方法】

- * 貸出車輛は6名から10名までは1台、12名から20名までは2台となっています。
- * 利用回数は1団体につき七飯町内及び近郊は、1日とし回数は1か月に2回、宿泊を伴う場合は2泊3日の期間とし回数は1年に1回とします。
- * 社協車輛の利用料は無料ですが返却時のレギュラーガソリンの満タン及び車輛内外の洗車・清掃と車内の禁煙をお願い致します。

詳しくは社協ホームページの車輛貸出をご覧ください。



新しくなった「なかよし」号もおかげさまで有効に活用されています。

七飯町グループホーム

「ひだまりの家」家族会を開催しました。

9月3日(日) 七飯町グループホーム「ひだまりの家」にて、入居者様の家族や地域の方、ボランティアの方をお招きし、家族会を開催しました。

天気にも恵まれた家族会は約40名の方が参加しました。

炭火で焼くジンギスカンや焼き鳥、やきそばやフランクフルト等アツアツの品がテーブル狭しと並び、さらに家族も一緒に食べるとあって、皆さんはいつもにも増して良い笑顔をしていました。

「ひだまりの家」は、平成12年に開所以来、地域の方々やボランティアさんの協力を得ながら、入居者様へ寄り添い運営をしてきました。

今後ともご家族や各関係機関の理解を得ながら、地域に密着したサービスを提供していきたいと思っております。



ひだまり家族会

ボランティアの広場



ボランティアセンターでは、個人ボランティアや団体で活動されている方々の資質向上や、情報交換の場として様々な活動を行っております。

ボランティア研修会 ～手引きの基本と実践～ 文化センター H29.7.26



今回は視覚障がい者の手引きをテーマに、函館視覚障がい者センターより、小山 奈美氏と市川 喜章氏を講師にお招きし、視覚障害について学んだあと、実践形式で階段の昇り降りや、実際に外を歩き縁石や段差など、二人一組になり障がい者と支援者の立場を交互に体験しました。

さらに今回は、昨年兵庫県より七飯町に転居してこられた視覚障がい者 真弓まつ子さんにおいでいただき、日常生活でのご苦労や、七飯町の印象など、お話を伺いました。



アイマスクで文化センターの外を1周



アイマスクで階段の昇り降りを体験



函館視力障がい者センター 講師 小山氏(右) 市川氏(左)



講師の話に真剣に耳を傾けるボランティアの皆さん



ボランティアガイド2017

～大沼再発見～ 29.8.18

今回は快晴の日には南北海道を一望できるという『七飯 Gondola』と東大沼で野菜の水耕栽培に取り組む企業『株式会社アプレ』を見学しました。

29名が参加したこの日は、うす曇りの空模様で、残念ながら駒ヶ岳すら目にすることが出来ませんでしたが、ゴンドラに初めて乗った方、山頂散策を楽しんだ方、カフェでのおしゃべりなどそれぞれの楽しみ方で大沼の自然に癒された後は、株式会社アプレに移動。自然エネルギーで稼働させている工場を拝見し、あまり耳慣れない水耕栽培という農法について説明していただきました。



(株)アプレで工場見学



七飯ゴンドラの山頂で…

渡島管内活動研究協議会

北斗市総合文化センター かなで～ H29. 9. 6

渡島管内のボランティアが集い、ボランティア活動のあり方を考える『渡島管内活動研究協議会』にボランティア団体の代表者等8名が参加しました。

はじめの団体紹介では、函館市『さわやかミドルの会』、森町『銀河の森』、そして七飯町から『朗読ボランティア あゆみの会』(代表 村岡 朗子氏)に活動紹介をしていただきました。

その後『災害ボランティアセンター活動の今後の展開について』というテーマで、昨年相次いで北海道に上陸し記録的な大雨をもたらした台風の被災状況や災害ボランティアセンターの取り組みについてなど北海道社会福祉協議会 地域福祉部地域福祉課 主査 山崎 真裕 氏が講演され、災害時に役立つ段ボールのベッド作りを体験しました。



あゆみの会代表村岡氏



段ボールベッド作りを体験

あなたの趣味や特技をいかして力を貸してほしい誰かの為に…

団体・個人 ボランティア募集中

ボランティアセンターには現在個人ボランティア 56 名ボランティア団体で 30 団体に登録いただいております。どの団体も常日頃より会や個人のレベルアップの為に学習会などを開催し、地域や施設などで活躍されています。

朗読ボランティア あゆみの会

視覚障がい者の目となり 22 年
朗読会を開催

～声の情報をお届けします～ H29.9.9 文化センター

「目の不自由な方達と情報を分かち合いたい」という思いで、地道な活動を続けている朗読ボランティア『あゆみの会』（代表 村岡 朗子氏）が、この度朗読会を開催し、町内外より 8 名のリスナーを含む約 45 名が会場に足を運びました。

会員はこの日の為に、春から練習や準備を重ね、『あらしのよるに』など 4 作品を読んだ他、視覚に障害のある方による点字の朗読も披露されました。

『あゆみの会』は、視覚障がい者や活字が読み難くなった高齢者に『広報ななえ』や『社協ニュース』などを読み CD に録音して届ける活動をしています。会長の村岡氏は「聞いて下さる方が一人でもいるかぎり、活動を続けていきたい」と話しておられました。

視覚に障がいのある方はもちろん、最近広報などの小さな字が読み難くなったと感じておられる方はボランティアセンターまでお問合せ下さい。又、視聴ご希望の方は、地域センター内ボランティア掲示板前に設置していますのでご利用下さい。



講師の話に真剣に耳を傾ける参加者



心を込めて読みました

手話サークル ふきのとう

大沼保育園の
園児達に手話教室

29.6.28 大沼保育園



手話サークル『ふきのとう』（代表 岩本 美智子氏）が、6月より月1回、大沼保育園の子供達に簡単な手話を教えています。

子供達の目標は 11 月に行われる発表会までに手話で歌を唄えるようになることだとか…？

岩本氏は園児の興味をひくよう様々な工夫を凝らし、この日も色紙を見せながら赤や青などの色を手話で伝え、園児達も真剣な眼差しで先生を見つめる子・おどけた表情の子・笑顔の子など、表情は様々ですが、先生の手動きを真似ようと一生懸命でした。

岩本氏は「まずは簡単な挨拶や、色・果物・動物などの手話を教えながら、手話に興味をもってもらいたい。とにかく子供達と一緒に楽しみたい」と話しておられました。



園児に手話を教えるふきのとう
代表 岩本氏と沖本氏



手話に興味深々の園児達

朗読や手話に興味のある方私達と一緒に学びませんか？

ボランティアって？

自らの意志で…
できる事をできる時に…
無償で行う活動です。



- ・ 定年退職して時間に余裕ができた方
- ・ 子育てが落ち着いたので何かしてみたい方
- ・ 社会や地域の役に立ちたいとお考えの方

どんなボランティアがあるの？

- ・ イベントのお手伝い
- ・ 家事や買い物の手伝い
- ・ 介護施設で高齢者の話相手や囲碁や将棋の相手
- ・ 施設の草刈りやイベントの手伝い
- ・ 施設や地域で軽体操・手芸・習字などの指導
- ・ 施設や高齢者や障がい者宅の排除雪作業
- ・ 視覚障がい者の移動援助



お問い合わせは

七飯町ボランティアセンター

TEL 65-4903

七飯町 4 丁目 8 番 1 号

FAX 65-2542

地域要援護者支え合い事業

明るい皆の元気な笑顔を目指して、各町内会でも、お互い気にかけて日頃から見守り、健康的な活動、交流、そして支え合い活動の輪が広がり取組が続けられております。各町内会での活動の様子をご紹介します。

大中山中央町内会での 介護実習活動では…

毎年夏にデイサービスセンター「なかの苑」にて社協職員指導のもと各自体内等測定チェックや、パワーマシンの体験、車いすに実際に乗ってみたり押してみたり実践的に操作を体験して介護教室として勉強をしております。

この日は教室を行う前に日頃から気にかけている一人暮らしの高齢者宅の見守り訪問も終えてから21名の参加となり、皆で元気な笑顔で一日を過ごされました。



インボディ測定 → パワーリハビリ → 車イス操作

本町町内会での サロン活動では…



サロンにてふまねっと体験、お茶会の様子

年4回会館や地域の施設を借りて、日常の困り事や近況等おしゃべりしながら気軽に集まっています。5月にはふまねっとを取り入れたり、9月はお茶会、10月には、ギター演奏会を予定しており楽しみ満載です。その他健康的に歩こうとウォーキング運動をしたり、子供達との世代交流等元気な明るい活動を行っています。

単身高齢者交流会参加者募集!

今年度も交流会の開催を決定致しました。当日は、「簡単体操」やゲームで、一緒に楽しみ交流を深めて頂きたいと思っております。

- 開催日時 大沼地区 10月20日(金)
本町地区 10月25日(水)
大中山地区 10月26日(木)
午前11時～午後3時頃まで



- 場 所 ホテル函館ひろめ荘 (函館市大船町832番2)
- 対象者 七飯町内在住のひとり暮らしの高齢者 (65歳以上の方・日中独居の方含む)
- 参加費 2,000円 (当日徴収)
- 定 員 各地区それぞれ30名
- 申込方法 直接社協へ又は電話 (65-2067) にて
- 締 切 10月13日(金)迄
(但し申込は、先着順とし定員になり次第締め切りとなります。)
- ◎ご不明な点等がございましたら、お問合せ下さい。

除雪機貸出案内情報

今年度も、希望のある町内会等に小型除雪機の貸出を行います。平成23年度から、4年計画で整備しており、現在22台(ロータリー式・ハイブリッド式・ブレード式)を所有しております。貸出については無料で貸出ますが、燃料や保管場所については各町内会で確保して頂きます。又、申請については、各町内会様宛に、後日、申請紙を送付致しますので、要綱に基づき必要事項を、ご記入していただき、審査により貸出が決定致します。詳しくは、社会福祉協議会までお問い合わせ下さい。



ブレード式2台 ロータリー式8台 ハイブリッド式12台



H29年度、当事業申請を4月中旬から受付し、50町内会から申請頂きました。今年度、まだ申請されていない町内会や、冬場の除雪等の追加申請がある場合、町へ提出する都合上、検討のうえ10月20日(金)までに社協窓口へ提出の程宜しくお願ひします。

七飯町社会福祉協議会 生活支援サポーター活動開始！

要支援状態にある高齢者の方々が、在宅生活を維持するうえで一番大切な衣食住を支える担い手として、七飯町主催の養成研修を修了した生活支援サポーターの活動が開始しました。

9月13日 七飯町社会福祉協議会に登録した4名の生活支援サポーターが集まり、定例研修会を開催しました。今回の研修会では、実際に活動しているサポーターの実践報告やこれから活動するにあたっての不安や悩みを話し合うことが出来ました。

今後は、月に一回研修会を開催する事で、「不安無く、活動しやすいチームを作り上げていきましょう」と意見がまとまり、和やかに研修が終了しました。



引き続き七飯町社会福祉協議会では、生活支援サポーターを募集します。

問い合わせ先 ホームヘルパーステーション「七飯社協」
電話 65-4902 担当 岩田・佐藤

七飯町町内会連合会健康福祉専門部会研修会の開催について

七飯町町内会連合会では、健康・福祉をテーマとした研修会を次のとおり開催しますので、多数のご参加をお待ちしております。

- と き** 平成29年10月23日(月) 13時30分～(受付13時～)
- 場 所** 文化センタースターホール
- 研修内容**
 - 「これからの地域支え合いの仕組みづくり」(仮称)
講師 民生部福祉課地域包括支援係長 谷口 真樹 氏
 - 「介護予防教室「楽しくスポーツ倶楽部」の取り組みと「ななえ楽スポ体操」の紹介」(仮称)
講師 民生部子育て健康支援課保健予防係 佐々木 香織 氏
- 申込期限** 10月13日(金)
- 申込み先** 所属している町内会又は七飯町町内会連合会事務局(65-2067)



「地域と共に考える研修会」

「高齢社会が進むにつれて、利用者が増加している成年後見制ですが、言葉は知っていても内容はよくわからない方が多いのでしょうか。そこで公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート函館支部会員による寸劇と講義でわかりやすく説明します。」

寸劇のあらすじは

「一人暮らしのお年寄りが、突然、倒れて意識不明に…入院費と家賃は誰が払う？ お金の管理は？ 猫の世話は？ 意外と身近な成年後見制度のお話」



今年1月に八雲で開催

公益社団法人
成年後見センター・リーガルサポート 函館支部
支部長 森奈津美氏の解説と寸劇
平成29年11月6日(月) 午後1時半～3時

文化センタースターホール 参加無料
認知症になったら、金銭管理ができない。
死んだら財産はどうなるの？
遺言は通用するの？
そんな悩みを、わかりやすく寸劇スタイルでお教えます。

昭和のうたコンサート

札幌を皮切りに、北の国から海峡を越えて日本全国の町から町へと講演活動を行っています北海道歌旅座。音楽の感動を贈る活動に当社協も応援します。昭和の流行歌を一緒に聴いて、そして一緒に歌いましょう。きっと懐かしい思い出がよみがえってきます。

平成29年11月20日(月) 会場 13:30 開演 14:00
七飯町文化センター 前売 1,800円 当日 2,300円
寿優待券(70才以上) 1,000円
七飯町文化センター、大中山コモン、大沼婦人会館、七飯町社会福祉協議会

当日は会場の外で、赤い羽根共同募金活動を行いますので宜しくお願い致します。



生活福祉資金貸付のご案内

「生活福祉資金貸付制度」は他の貸付制度が利用できない低所得世帯や障がい者世帯、高齢者世帯に対し、資金の貸し付けと必要な相談・支援により、経済的自立と生活の安定を目指すことを目的としています。この貸付制度は厚生労働省の要綱にもとづき運営しています。



ご利用いただける世帯

- 1. **低所得世帯** 資金の貸付けにあわせて必要な支援を受けることにより自立自活できると認められる世帯であって、自立自活に必要な資金の融通を他から受けることが困難であると認められた世帯。
- 2. **障がい者世帯**
 - ① 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかの交付を受けている方の属する世帯
 - ② 障害者総合支援法によるサービスを利用している方の属する世帯
- 3. **高齢者世帯** 65歳以上の高齢者の属する世帯（福祉資金については、日常生活上療養または介護を要する高齢者が属する世帯に限る）

ご利用に際して

- ・借入申込される世帯に貸付けします。
- ・「連帯保証人」が必要です。ただし、連帯保証人を立てられない場合でもご利用できますが、利子が加算されます。
- ・民生委員等の相談支援が必要です。
- ・他の貸付制度を優先してご利用いただきます。
- ・事後申請は貸し付け対象外です。



相談窓口

資金の種類		資金の目的
1. 福祉資金	福祉費	生業を営む為に必要な経費、病気療養に必要な経費、住宅の増改築や補修などに必要な経費、福祉用具等の購入経費、介護サービスや障害者サービスを受けるために必要な経費 など
	緊急小口資金	緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に貸し付ける少額の費用
	教育支援費	低所得世帯の子どもが高校や高専、大学などに修学するために必要な経費
2. 教育支援資金	修学支度費	低所得世帯の子どもが高校や高専、大学などに入学する際に必要な経費
	不動産担保型生活資金	低所得の高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産を担保として生活資金を貸し付ける資金
3. 不動産担保型生活資金	要保護向け不動産担保型生活資金	要保護の高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産を担保として生活資金を貸し付ける資金
	生活支援費	生活再建までの間に必要な生活費用
4. 総合支援資金	住宅入居費	敷金、礼金等住宅の賃貸契約を結ぶために必要な費用
	一時生活再建費	生活を再建するために一時的に必要なかつ日常生活費でまかなうことが困難である費用

おしまHOTかないセンター 巡回相談会

生活上（暮らしや仕事）の悩みや経済的な困りごとについて、一人で悩まずにお気軽に相談ください。おしまHOTかないセンターは、あなたの町にお伺いして、あなたと一緒に解決方法について考えます。



- と き** 平成29年10月12日（木曜日） 13時～15時
- と ころ** 七飯町社会福祉協議会 ボランティアルーム（七飯町本町4丁目8番1号）
- 相談方法** 当日、相談会場までお越しください。
（相談中の場合には、若干お待たせする場合がございますのでご了承ください。）
自宅等での訪問相談を希望される方は別途調整を致しますので、事前に下記問い合わせ先にご一報ください。
- そ の 他** 相談は無料です。
- 問合せ先** おしまHOTかないセンター 0138-47-3013 / 七飯町社会福祉協議会 0138-65-2067

多くの寄贈品ありがとうございました

（敬称は省略させていただきます）

使用済み切手、使用済みテレホンカード、リングブル、書き損じはがきなど有効に活用させていただきます。

グループホームあずましの里、傍の会、北海道旅客鉄道 株式会社 函館支社、中根 豊、岩本 美智子、西谷 弘美、金曜サークル、新海、石原 嶺子、千葉 まさよ、小林 八重、金曜会、本間 昇、緑町簡易郵便局、野村 久代、あゆみの会 しおん会、片岡 璋子、伏見 有希、介護者と共に歩む会、佐藤 セツ子、佐々木 悦子、南本町第一町内会、株式会社シンオシマ、あかまつ調剤薬局、中矢 幹夫、高橋 運奈、高橋 大貴、田中 正夫、フェニックスコート、奥村 憲一、みどり保育園、軍川小学校、柳館 克弘、鈴木、石嶋 要、宮城 千枝子、パソコンサクル、一般社団法人かがやき、かけがわ不動産、七飯養護学校、南幼稚園、羽衣会、大中山ディスク愛好会・渡辺 雅照、大沼保育園、塩崎 稔秀、北谷 三治、宗山 キク、原 久子、大中山小学校、やまびこ会（平成29年6月16日から平成29年9月12日現在）

温かいご寄付ありがとうございました

皆様からの心の善意が6月1日から9月5日まで総額33,600円となりました。ご寄付いただいた皆様、本当にありがとうございました。

- 6月 1日 匿名 名様
- 6月 12日 匿名 名様
- 8月 28日 匿名 名様
- 8月 29日 匿名 名様
- 9月 5日 大中山ディスク愛好会 様